

申立ての趣旨及び紛争の要点

申立ての趣旨

相手方(□ら)は、申立人に対し、(□連帯して、)下記金員を支払う。

金 円

□上記金額に対する平成・令和 年 月 日から支払済みまで
年 %の割合による遅延損害金

との調停を求める。

紛争の要点

1 交通事故の発生(□事故状況は別紙事故状況説明書記載のとおり)

(1) 発生日時 平成・令和 年 月 日午前・午後 時 分頃

(2) 発生場所 市・郡 町・村
丁目 番 □先路上 □号

(3) 申立人の車両等

ア 車種 □普通乗用自動車 □普通貨物自動車 □自動二輪車

□原動機付き自転車 □自転車 □徒歩

イ 運転者 □申立人 □申立外

ウ 所有者 □申立人

□申立外 (□借主 □所有権留保 □)

(4) 相手方の車両等

ア 車種 □普通乗用自動車 □普通貨物自動車 □自動二輪車

□原動機付き自転車 □自転車 □

イ 運転者 □相手方 □申立外

(5) 事故態様 □衝突 □追突 □接触 □

2 □相手方 □申立外 の過失態様

□前方不注視 □センターラインオーバー □一時停止違反

□無理な追越し □制限速度違反 □信号無視

□その他 ()

3 申立人が上記事故によって受けた損害の内容

(1) 物 損 ア 修理代金 金 円
イ その他() 金 円

合 計 額 金 円

(2) 人 損 ア 傷害の部位
程度(全治 日 □入院 日 □通院 日)
イ 治療費 金 円
ウ その他() 金 円

合計額 金 円

(3) 損害合計額 金 円

4 弁済を受けた額 円

5 相手方 申立外 は、相手方 の従業員
であり、上記事故は業務執行中に発生したものである。

6 相手方 は、本件加害車両の保有者である。

7 その他の紛争の要点

(別紙)

事故状況説明書

1 事故現場における申立人と相手方の事故現場状況説明図

記載例

申立人の進行方向	①→②→	□相手方の進行方向	㊦→㊧→
申立外 () の進行方向	Ⓐ→Ⓑ→	衝突地点	⊗ 歩行者♀ 自転車▽

2 事故状況の説明

・最初に相手を発見した地点は	○	その時の相手は	○
<hr/>			
・危険を感じた地点は	○	その時の相手は	○
<hr/>			
・ハンドルを□右 □左に切った地点は	○	その時の相手は	○
<hr/>			
・ブレーキを掛けた地点は	○	その時の相手は	○
<hr/>			
・□衝突 □接触 □追突 した地点は	○	その時の相手は	○
<hr/>			
・	が□停止 □転倒 した地点は	○	
<hr/>			
・	が□停止 □転倒 した地点は	○	
<hr/>			